

中国の希土類政策 国家工業・情報化部

“重希土輸出禁止”報道の火消しに躍起

国内事情だけの政策決定が貿易摩擦で困難に

中国・中央政府の国務院傘下にある工業・情報化部（前身は国家発展改革委員会の工業部門など）は、「ジスプロシウム（Dy）やテルビウム（Tb）など重希土類が輸出禁止」との報道が国内外に流れたため、火消しに追われている。同部はこのほど、2015年までの希土類産業について政策提言を作成したが、中国の経済紙が「この政策提言では、Dy、Tb、ツリウム（Tm）、ルテチウム（Lu）、イットリウム（Y）などが輸出禁止」と報道したことから、中国内ばかりか、中国の通商政策に不信感を強めるアメリカやEUなどで大きな反響が出た。中国はこれまで、公害防止や労働環境の改善など国内の諸問題を解決する実効的な手段として、希土類への輸出規制を課してきた。だが、現在の中国はすでに工業製品の輸出で巨額の貿易黒字を稼いでおり、自由貿易で大きな恩恵を受ける。中国が資源の輸出禁止に踏切することは、かえってアメリカやEUなどに「中国の工業製品の締め出し」という保護貿易のかっこうの口実を与えかねないため、国内事情だけを考慮した政策決定は難しくなりつつある。

王氏は「輸出禁止しないか規制強化」とあいまいな姿勢

工業・情報化部は、産業政策の提言などを行い、同部原材料工業司が希土類を担当。実際の政策決定は国務院や商務部などが個別企業への聴取などを経て実施。中国の経済紙によると、同部が作成し未公表の「今年～15年希土類工業発展企画」では、希土類のEL（輸出許可枠）は15年までに3.5万tへ削減され、DyやTbなどは輸出禁止、というもの。

これに対し、王彩鳳氏（同部原材料工業司 副司長）は今月3日に、国際レアメタル・レアアース会議（中国・北京。主催は中国五鉱化工輸出入商会、Metal Page）で講演を行い、「中国は海外に門戸を閉ざすつもりはない」と輸出禁止はしないものの、輸出規制を強めるといった歯切れの悪い姿勢をみせる。講演の中で、①外資企業は抽出分離・製錬企業への出資を認められ、②（外資企業も）応用製品の生産は奨励される、と川下では外資の導入を認める。

輸出規制が公害や労災などの国内問題を改善する手段に

一方で、③鉱石、精鉱などの素原料の輸出禁止は継続。④Dy、Tb、Lu、Tm、ユーロピウム（Eu）、イッテルビウム（Yb）などは輸出禁止にしないが、分離製品や付加価値製品などでも輸出制限を実施、と従来通り一部品目で輸出規制を強化する。

中国政府は、公害や労働災害などの国内問題に苦慮し、温床となる違法採掘や違法操業に対し様々な規制を設けるが、実効性に乏しい。密輸が増えるとしても、輸出規制以外に実効性のある対策がないのが実情。

急激な経済成長を続ける中国では、石炭などの鉱工業が事故による労災のほか、土壌・水質・大気の汚染による周辺住民や労働者の健康被害、農業や漁業の悪影響などを引き起こすなど、大きな社会問題となっている。地方政府などへの抗議活動や暴動も頻発し、こうした問題を放置すれば、社会不安につながりかねない。中央政府が採掘や操業の規制を設けても、地方政府などは地元経済の発展のため取締りを強化しないことも少なくない。希土類の鉱山や抽出分離・製錬でも、許可を受けた正規の採掘や操業さえ数量が守られておらず、違法な採掘や違法な後を絶たず、規制の実効性が薄いとされる。

中国は「資源が不当な安値で輸出」と被害者意識強く

輸出規制は中国内で資源ナショナリズムの観点から支持されている。中国では「中国の貴重な資源

が不当な安値で輸出され、先進国に搾取された」との被害者意識も強い。ハイブリッド車のような付加価値製品は、膨大な開発費用が中長期で必要となるものの、中国側は製品の恩恵が資源国の中国にないことに不満をもつ。また、軽希土類の資源は世界中にあり、中国以外のほとんどの鉱山が中国の安値攻勢で、閉鎖に追い込まれた。だが、中国側からは「まず中国の資源を使った後、先進国の資源を使おうとする陰謀」との見方も一部に出ている。

巨額の貿易黒字の中国は自由貿易での恩恵が大きい

その一方で、中国内の希土類の資源企業や輸出企業は収益機会の減少に直面するため、「重希土類の輸出禁止」に反対するとみられている。中国の希土類メーカーが海外需要家に輸出できないと、販路が減少することで中国内価格の維持も難しくなるとみられている。

また、通商外交上の観点では、巨額の貿易黒字を稼ぎ出す中国は自由貿易での恩恵が大きく、保護貿易は不利になる。中国の資源輸出規制は、他の貿易赤字国に「中国製工業製品の締出し」という保護貿易のかっこうの口実を与え、「資源を守って、工業製品が売れない」事態に陥る。中国がWTOで敗訴する事例も出たため、対応部署では他の国々に保護貿易とされないように神経をとがらせる。このため、工業・情報化部が「重希土類の輸出禁止」を打出しても、部署間の調整は難しく、実施される可能性は低いとの見方が根強い。

先進国では、中国が資源の輸出規制という保護貿易の姿勢にあることに反発が強い。たとえば、中国が鉄鋼やアルミなどの原料（ボーキサイト、コークスなど）のEL制度を設けていることに対し、今年6月下旬にアメリカやEUから「自国の鉄鋼、アルミなどの素材メーカーが国際競争上不利になる」とWTOで提訴された（既報・7月1日号）。

貿易赤字のアメリカやEUでは、「安価な中国の工業製品が雇用を奪う」と世論の反発も強く、「重希土類の輸出禁止」という報道にも中国の保護貿易姿勢とみなし敏感に反応したとみられている。貿易黒字の日本では、世論の反発は少なく、業界関係者は毎年のように出る「希土類の輸出禁止の憶測」として冷静な受止め方がされる。ただし、不安を感じた希土類製品の需要家などから問合せが出ている。

[希土類価格] 金属Nd, Pr, Diが20ドル/kgに回復

金属レアアースの輸入価格 (kg 当り, CIF 日本) は, ネオジウム (Nd), プラセオジウム (Pr), ジジウム (Di)。主にNdとPrの混合希土) が20ドル台に回復した。NdやPrの価格は昨年7月まで40ドル前後にあったものの, 日本や中国のNd-Fe-B系磁石生産の低迷から価格調整に入り, 今年初めからは10ドル台に落込んでいた。ここにきて磁石生産が徐々に回復しており, 価格が調整局面から脱しつつある。

金属レアアースの輸入価格推移 (US\$/kg, CIF 日本)

	2009年					前月比 (%)
	4月	5月	6月	7月	8月	
ランタン	11.4	10.0	10.0	10.0	10.0	0
セリウム	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	0
プラセオジウム	19.0	18.6	18.6	19.0	20.3	+7
ネオジウム	19.5	19.1	19.1	19.5	20.5	+5
ジジウム	19.0	18.3	18.3	18.7	20.0	+7
サマリウム	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	0
テルビウム	600	600	600	600	600	0
ジスプロシウム	145	145	145	145	145	0
イットリウム	44	44	44	44	44	0

(出所) 業界関連企業

(注) ジスプロシウム(DyFe)は Dy 純分ベースの価格